

## 新潟医療福祉大学医療情報管理学科における連携基礎ゼミの取り組みについて（第1報）

新潟医療福祉大学医療情報管理学科・高橋直樹，  
福島正巳，東條猛，伊藤隆，瀧口徹，寺島和浩，井上弘樹，  
本間久文，張国珍，野水弘祐，森脇健介，高橋榮明

### 【背景】

新潟医療福祉大学では、2010年度から「連携基礎ゼミ」が開講された。連携基礎ゼミの概要・一般目標と学習目標・行動目標等は授業概要（シラバス）に記載されている通りであるが、本学科の教員による連携基礎ゼミにおいては、概要・一般目標において「連携教育学年別目標である2年次の課題認識として、保健医療福祉分野の社会資源の現状を理解する」、学習目標・行動目標において「1. 保健・医療・福祉分野の医療機関，保健・福祉施設の種類と役割，利用状況が説明できる」「2. それらの医療機関，保健・福祉施設に勤務する専門職種について説明できる」「3. それらの医療機関，保健・福祉施設における現場協働の現状を説明できる」「4. それらの医療機関，保健・福祉施設の相互の関係を説明できる」「5. 利用者が，各機関・施設を，どのように利用し，楽しんでいるかを理解し，そこでのリクリエーション方法を提案する」という内容を本学科の実施概要<sup>1)</sup>において追加し，実践を試みた。本稿では，その成果の一部を発表する。

### 【方法】

2010年度の医療情報管理学科における連携基礎ゼミでは，連携基礎ゼミの効果測定と今後のゼミ内容向上のために，第2回授業（2010年10月6日）と第15回授業（2011年1月26日）に，以下の27項目からなるアンケートを実施した。

1. 「保健・医療・福祉分野の専門職の理解（14項目）」
2. 「保健・医療・福祉分野の医療機関，保健・福祉施設の種類と役割，利用状況（11項目）」
3. 「職種間連携の必要性について（1項目）」
4. 「IPW実践にあたって必要となる能力について（1項目）」

### 【結果】

アンケート結果についてクロス集計したものを比較すると，回収総数が異なるものの，第15回授業時では，第2回授業時よりも，専門職の理解や機関・施設の役割などについて，「知っている」と回答した学生が増加し，「やや知らない」と回答した学生が減少したことが分かった。また，職種間連携の必要性については「非常に必要」と回答した学生が大幅に増加し（図1），IPW実践にあたって必要な能力については「ややもっている」と回答した学生が大幅に増加したことが分かった（図2）。

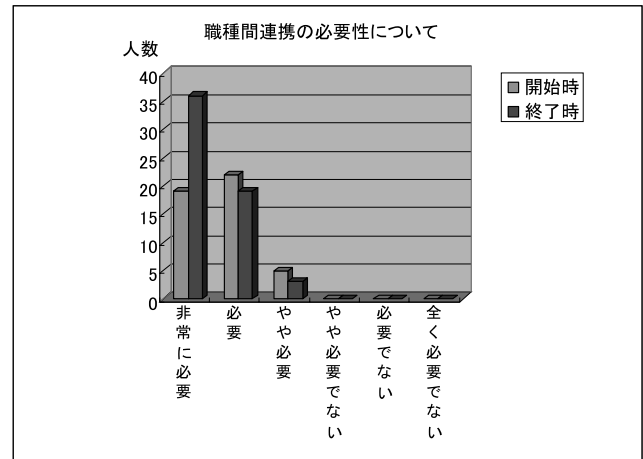


図1. 職種間連携の必要性について

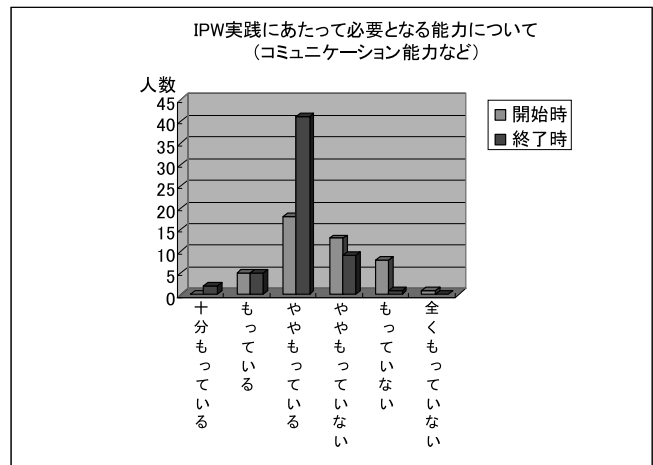


図2. IPW実践にあたって必要となる能力について

### 【考察・結論】

これらのことから，医療情報管理学科の連携基礎ゼミを受講した学生は，質問項目にあげられていた各専門職の理解や，各機関・施設の役割等に関する理解を深め，職種間連携の必要性を認識するとともに，IPW実践にあたっての自身の能力に対する自信を深めたのではないかと考えられる。

今後の課題としては，アンケートの質問項目が医療情報管理学科の連携基礎ゼミが狙いとするものに対する直接的な質問（受講生が授業終了時において「知っている」ことを前提とする質問）であったため，今後は，細かい内容を含めた，より精度の高い質問項目を吟味しなければならないだろう。

また，受講生の理解度等を質問するだけでなく，受講生の満足度などについて，自由記述を含めたアンケートを実施することにより，更なる考察が得られるであろう。

### 【文献】

- 1) 高橋榮明ら（2010）医療情報管理学科 2010年度連携基礎ゼミ実施概要（案）（未刊行）